



かほく市立河北台中学校

令和6年2月22日

学校だより【特別号（学校評価・学力調査より）】

さわやか

校長 漢野 有美子

学校・家庭・地域が連携した教育活動をより一層推進するために、12月に本校の教育活動に対する「保護者アンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。後期学校評価の結果についてお知らせします。

1 後期学校評価より（生活や学習に取り組む姿勢の問いからの抜粋）

①生徒アンケート：前期との比較

肯定的な回答の割合

質問項目		前期	後期		
授業・学習	授業は分かりやすい	1年	97%	97%	授業は分かりやすいと回答した生徒は9割である。さらに学ぶ楽しさを感じる授業づくりに努めていく。
		2年	89%	89%	
		3年	94%	94%	
		全	93%	93%	
	授業では課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる。 (R4：授業では理解しようと自分で考え自分から取り組んでいる)	1年	94%	96%	授業に意欲的に取り組んでいる。見通しを持って課題解決に粘り強く取り組む生徒を育てたい。
		2年	86%	91%	
		3年	93%	96%	
		全	91%	94%	
	友達や先生の話、分かれようとして聞いている	1年	98%	100%	しっかり聞くことができる生徒たちである。さらに思考が深まるよう授業を工夫し確かな学力に結びつけたい。
2年		97%	98%		
3年		99%	100%		
全		98%	99%		
家庭生活	自分で計画を立てて勉強している	1年	87%	75%	1, 2年生の数値が下がっている。自分の将来の夢を意識させ、計画的な学習の必要性を指導していく。
		2年	71%	68%	
		3年	71%	82%	
		全	76%	75%	
	平日の勉強時間が2時間以上	1年	23%	23%	前期と同じ結果であった。今後も家庭学習の大切さを伝え、取組を工夫していく。
		2年	24%	24%	
		3年	36%	36%	
		全	27%	27%	
	平日のメールやネット等の時間が2時間以上	1年	35%	52%	1年生のメール・ネット等の時間が増え、3年生は減ったが、引き続き使い方の指導を随時行っていく。
2年		68%	64%		
3年		52%	35%		
全		52%	51%		
学校生活	学校へ行くのは楽しい	1年	94%	99%	9割以上の生徒が学校へ行くのは楽しいと回答している。生徒主体の活動を工夫していく。
		2年	83%	90%	
		3年	89%	94%	
		全	88%	94%	
	物事に最後まで粘り強く取り組んでいる。	1年	96%	97%	2年生の数値が大きく上がった。今後も自ら進んで活動に取り組むことで達成感を感じれるよう取組を工夫していく。
		2年	85%	93%	
		3年	94%	96%	
		全	92%	95%	
	いじめはどんな理由があってもいけない	1年	98%	99%	「いじめはどんな理由があっても人間として絶対に許されない行為である」という意識を持たせていく。
2年		100%	96%		
3年		99%	100%		
全		99%	98%		
自尊意識面	自分には良いところがあると思う	1年	82%	87%	前期よりも数値が上がった。授業やその他の活動で生徒の頑張りを認める・褒める声かけをし、自信を持たせていく。
		2年	75%	79%	
		3年	79%	86%	
		全	78%	84%	
	将来の夢や目標を持っている	1年	72%	65%	外部人材を活用したキャリア教育の推進に今後も努めていく。
		2年	74%	70%	
		3年	73%	78%	
全	73%	71%			

②生徒アンケート：保護者と生徒との比較 肯定的な回答の割合 ()は前期との比較

対象	質問項目	生徒	保護者
生徒・保護者	学校へ行くのが楽しい	94%(+6)	84%(±0)
生徒・保護者	自分で計画を立てて勉強している	75%(-1)	63%(-2)
生徒・保護者	しっかりと挨拶をしている	97%(+3)	87%(-1)
生徒・保護者	朝食を毎日食べている	94%(+1)	92%(-3)
生徒・保護者	将来の夢や目標を持っている	71%(-2)	59%(+1)
生徒・保護者	平日、家庭学習の時間が1時間以上である	75%(±0)	58%(-3)
生徒・保護者	休日、家庭学習の時間が2時間以上である	52%(±0)	40%(+6)
生徒・保護者	平日、メール、インターネット等の時間が1時間以上である	79%(-2)	79%(+1)
生徒・保護者	休日、メール、インターネット等の時間が2時間以上である	81%(±0)	76%(+1)
保護者	お子様と学校の出来事について話をしている	/	83%(±0)
保護者	学校は、お子様をよく理解し、指導している	/	84%(+9)
保護者	学校からの便りやホームページで学校の指導方針や子ども達の様子などがわかりやすく伝わってくる	/	86%(-6)
保護者	いじめ防止の取り組みが伝わってくる	/	67%(+2)

※ (/) は実施していない項目です。

* 昨年より「学校は、お子様をよく理解し、指導している」の肯定的な回答の上昇がみられる。引き続き様々な活動を通して、自己有用感や自尊感情を高め、生徒理解に努めていきたい。

* メールやネットの等の使用時間がまだまだ多い。家庭との連携が必要である。

2 今後に向けての取組等

【安全安心な学校】

いじめについては、毎月の生活アンケートと面談を実施し、その実態を把握することで、未然防止や早期発見に努めています。トラブルなどがあった場合には、関わっている生徒の話を丁寧に聞いて状況を把握するとともに、「いじめは絶対に許さない」という姿勢で対応しています。今後も、「いじめはどんな理由であっても、人として許されない行為である」という認識を一人一人の生徒に対して徹底し、道德の授業など教育活動全般を通して、生徒の「思いやりの心」を育て、温かな人間関係の構築への支援、さらに、日々の学校生活の中で自己肯定感が高まるような声掛けや、生徒一人一人に寄り添う姿勢で少しでも不安要素を取り除く体制を整え、全生徒が安心して過ごせる学校をめざしていきます

また、文部科学省をはじめとした諸調査では、ここ最近の中高生のトラブルのおよそ8割はメールやインターネットに関連して起きているという現状を読み取ることができます。学校では集会や授業等でメールやインターネットの使用については指導をしておりますが、ご家庭の連携と協力が不可欠と考えます。ご家庭におかれましては、お子様のメールやインターネット等の使用の状況について把握していただき、使用のルールづくりをするなど、ご指導についてもよろしくお願いいたします。

【授業・キャリア教育の充実】

生徒には夢や目標を持ち、学校での仲間との関わりの中で、自分の良さに気付き、夢や目標に向かって自信をもって取り組んでほしいと思います。本校では、キャリア学習を生き方学習ととらえ、生徒の職業観・勤労観を育成するとともに、外部人材を活用し、3年間を見通した取り組みとなるよう計画的に行っています。具体的には、1年生では地域と連携した職業講演会「職業人に学ぶ会」を、それを受けて2年生では職業体験学習を実施し、3年生では進路決定に向けた取り組みを行っています。今後は、外部人材を活用したキャリア教育を進め、「なりたい自分・将来の自分」を考える場を設定し、「なりたい自分になる」ために学習が必要であることを理解し、生徒一人一人が学習に意欲的に取り組めるよう取り組んでまいります。

保護者の皆様、アンケートのご協力ありがとうございました。学校では学校評価の結果を踏まえ、それぞれの課題を改善しながら、次年度も、河北台中学校が、地域にとってもより良い学校となるよう皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。